

平尾台千仏川～小倉ナイツにむけて～

【報告者】K出

【日時】2019年6月29日

【天候】曇り

【参加者】N井、みっちー、H田、K出

《コースタイム》

8時半遡行開始～11時不動坂～11時半平尾台自然観察センター

《報告》

記録的な遅い梅雨入りとなった今年の福岡。前週はからっからの金山沢を楽しみました(第二回沢登り講習会)。6月26日に北部九州も梅雨入りし、29-30は大雨、避難勧告も出るかもよ！という生憎の予報でした。予定していた山行も中止せざるを得ないなあと心づもりをしていたところ(実際、N井さんは前日11時の時点で中止宣言していたのですが)、みっちーさん、H田さんの強い希望により、29日午前中の沢登りが決定しました。押しがすごい(褒めてる)。

29日早朝、H田号でピックアップしてもらい、曇天の中8時前には平尾台に到着。早朝からハイカーやバイカーの姿もちらほら見られました。自然観察センターにN井号を駐車し、H田号で入渓地点へ(自然観察センターから5kmほど林道を下ります)。林道脇から入渓しました。砂防堤を2個ほどまいて、小滝を抜け、ゴーロ歩きが続きます。まだまだ慣れないゴーロ歩きに苦戦しつつ、のんびり歩きました。遡行図によると「ウォーターライダー」なるポイントに到着。しかし水流不足でとても滑れる状態ではありませんでした。

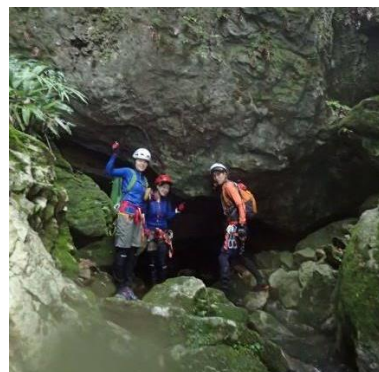


その左側の滝を進むことにしましたが、水流が多く、ここはロープを出してもらい、プルーヅックで確保しながら登りました。今更ながら、顔に水がどぼつとかかるたびに思わず目をつぶってしまいます。また、地面が脆く、つかんだところがぼろぼろとはがれてしまうのでその都度浮足立ってしまう自分を抑えながら、何とか登りました。岩登り自体はそれほど難しい場所ではありませんでしたが、水恐怖症を克服しないと一と実感しました。

その後はまたゴーロを歩きながら、藪トンネルを抜け、沢出合へ。不動洞方向に左に向かいます。そこからはH田さん曰く「ウォーターアトラクション」と言われるだけあって、ルンゼの中小滝の連続。詰め上がった先に不動洞がひっそりと口をあけていました。残念ながら土砂で洞底が上がっており、奥には進めませんでしたが、涼を感じました。

あとは登山道に入り、不動坂を経て、平尾台自然観察センターへ。「ザ・平尾台！」という景色を久しぶりに眺めることができ、癒されました。

2時間ほどの短い沢ですが、コンパクトに滝登りやゴーロ歩きを楽しめました。道中、H田さんのガイドも素晴らしく、初心者の方にはうってつけではないでしょうか。その後の小倉ナイツも含めて(今回はクラフトビール飲み放題)楽しい1日でした。



《概念図あるいはルート図》

